

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2025年度未来型）>

新型油圧発電システムを用いた波力発電装置の実証試験

1. 事業概要（未来型新エネ実証制度）

〔内容〕

新型油圧発電システムを用いた波力発電装置の実証試験を行い、商用機の基本モデルを完成させる。

〔背景・経緯〕

中部電力とe-ウェーブR&Dはそれぞれ、東京大学生産技術研究所が主催する海洋エネルギー共同研究グループに参画し、純国産技術による波力発電の開発に取り組んできた。

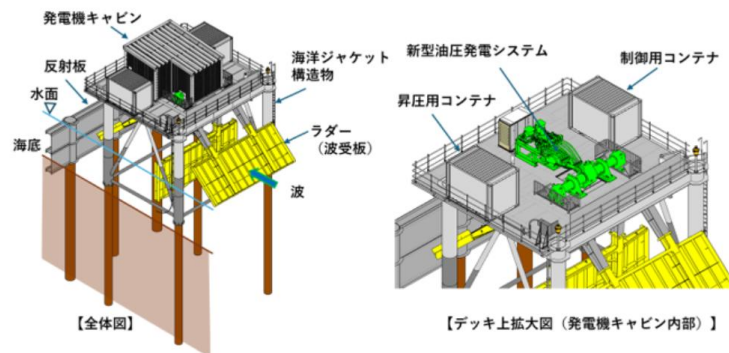
〔狙い、波及効果〕

純国産技術による波力発電の社会実装を実現し、再生可能エネルギーの新たな選択肢を創出する。

〔事業化〕

4段階を設定して波力発電の開発を進めてきており、当該実証試験（3段階）では、波エネルギーが日本有数である秋田県能代市において、外洋に面する沿岸部での発電試験を実施し、波力発電装置の商用機（4段階）の基本モデルを完成させる。

波力発電装置の完成予想図



2. 会社概要

中部電力株式会社	
本社所在地	愛知県名古屋市東区東新町1番地
設立／資本金	1951年 / 430,700,000千円
従業員数	3,289名（2026年3月現在）
事業内容	発電事業

株式会社e-ウェーブR&D	
本社所在地	神奈川県平塚市東八幡五丁目8番5号
設立／資本金	2021年 / 3,600千円
従業員数	3名（2026年3月現在）
事業内容	波力発電所の建設に関わるコンサルティング等

3. その他機関

【共同研究先】

東京大学

【外部協力者】

株式会社東京久栄、CRESS FEED株式会社、株式会社山川機械製作所、川崎重工業株式会社、川田工業株式会社、若築建設株式会社など